

経営比較分析表（令和2年度決算）

福島県 磐梯町

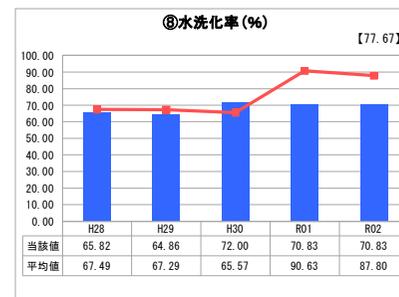
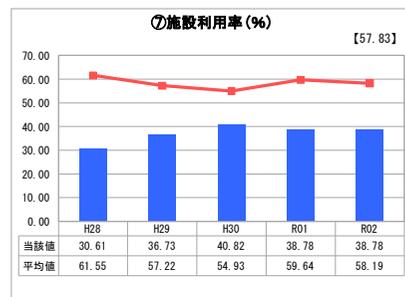
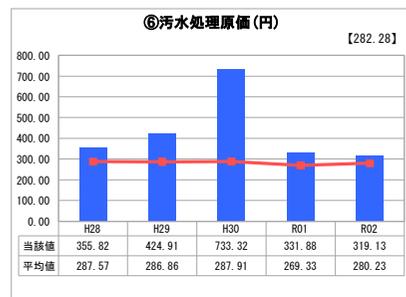
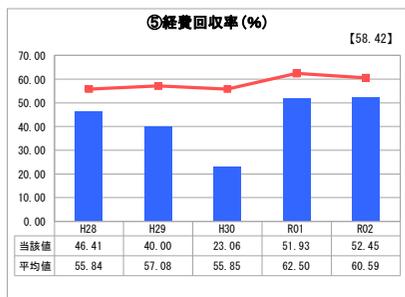
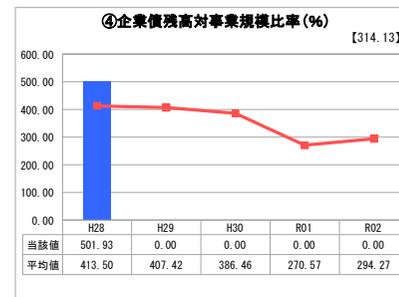
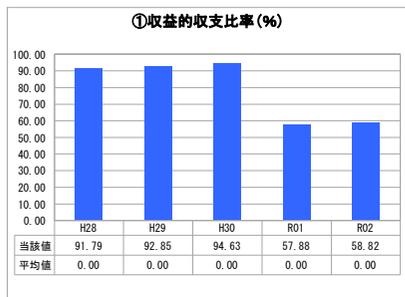
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ [※] 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.13	100.00	3,072

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,407	59.77	57.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
72	0.01	7,200.00

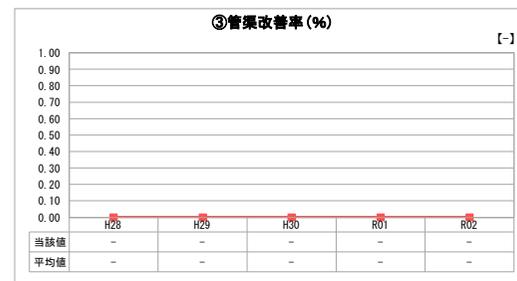
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

特定地域生活排水事業は、生活環境を改善し、安全・安心な生活を確保するうえで必要不可欠な基盤施設であるとともに、水環境の保全・水循環と資源の再利用を踏まえた循環型社会に貢献していく役割を担っており、持続的なサービスの提供が求められます。

その経営の健全化のためには、維持管理コストの削減及び適正な料金設定等、経営基盤の強化を進めていかなければなりません。

2. 老朽化の状況について

供用開始後17年となっており、まだ大規模な修繕には至らないものの、今後耐用年数の経過による集中的な改修・更新等が予想されます。経費が短期間に集中しないように計画的に補修・修繕を行い経費の節減・費用の平準化に取り組んでいきます。

全体総括

人口減少や節水型機器の普及に伴う使用料収入の減少、老朽化した施設の修繕や更新等にかかる費用の増加により、さらに厳しい経営環境となることが予想されます。経費削減や更新投資に充てる財源を確保し、将来にわたって持続可能な健全経営を行うため、更新費用の平準化や料金改定等も視野に入れることが必要となります。

今後は、持続可能なストックマネジメントの推進や、適切な原価計算に基づく料金水準の設定をするため、公営企業法適用に取り組み、安心・安全な生活環境の確保に努めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。